

# 2019年度第1回選書ツアー参加者の推薦文

発現

阿部智里

「八咫鳥シリーズ」の著者による戦争が題材のホラー・サスペンス。  
2人の語り手が辿り着く恐ろしい幻覚の正体とは？  
主人公の村岡さつきの母は、不可解な死を遂げるが、生前ある幻覚に悩まされていたという。  
そしてその幻覚はやがて兄だけでなくさつきにも襲いかかってくる――。  
また、省吾は自分の兄の不可解な死について独自に調べていたが――。  
幻覚について精神医療の視点が入っているのも面白かったです。  
2人の語り手の視点が重なる時に判明する真実は、読んだ後に不思議な感覚をもたらしてくれると思います。

看護学科3年

アドラー心理学 -人生を変える思考スイッチの切り替え方-

八巻秀

「自分をつい責めてしまう」  
「苦手な人とどう付き合っていけばいい？」  
現代人が抱える様々な悩みについて、「使用の心理学」と呼ばれるアドラー心理学の観点から解決策を示す1冊。  
イラストもたくさんあって、アドラー心理学の専門用語を丁寧に解説してあるので、入門書としても読みやすく、  
実習や職場でも実践できる知識が満載です。自分の性格分析にも役立つと思います。  
周りの人間関係に悩みがある人はぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。

看護学科3年

水底の橋

上橋菜穂子

本屋大賞、医療小説大賞などを受賞した「鹿の王 上と下」の番外編。  
今回は、前回の主人公の医師 ホッサルとその恋人ミラルを中心に話が進みます。  
様々な医療の価値観と政治的思惑が複雑に絡み合う世界で、  
登場人物たちは何が患者にとって最善なのかを追求していきます。  
身分違いの二人の恋の行方も見所の1つなのですが、  
特に随所にちりばめられた疾患や治療の描写は現代医療に通じるものがあり、  
とてもリアルで読んでいてわくわくしました。

看護学科3年

樹木希林120の遺言 死ぬときぐらい好きにさせてよ

樹木希林

言わずと知れた名女優、樹木希林さんの生前の言集を集めた一冊。  
希林さんの魅力が随所にちりばめられた本です。  
本の中の言葉は映画や雑誌のインタビューなどから抜粋されたもので、  
どれも彼女の姿の謙虚で驕らず、それでいて自然体に生きた彼女の姿が浮かんでくるようでした。  
どの言葉も魅力的でどれが一番いいかは選べませんが、  
一番最後の言葉は、とても胸に来るものがありました。  
ぜひ、最後まで通して読んでみてください。

看護学科3年

## 2019年度第1回選書ツアー参加者の推薦文

### 疾患別小児看護 -基礎知識・関連図と実践事例-

小児の代表的な疾患が定義・病態・合併症・看護など細かく分類されていてとてもわかりやすい本となっています。  
最後に資料として、成長発達の日安や予防接種スケジュールなどがまとめられています。  
ぜひ手にとって、実習や授業に役立ててほしい一冊です。

看護学科3年

### わたしがあなたを選びました

鮫島浩二

授業で作者の鮫島先生のことを知り、この本と出会いました。  
毎回涙ぐみながら読んで、読んで…何回でも読み返したくなる一冊です。  
子ども、大人、お父さん、お母さん…どの世代の人も読んでいううちに大切な人を思い浮かべると思います。  
生まれてきたすべての人に読んでほしい一冊です

看護学科3年

### 月齢別 発達が気になる子どもの早期療育・育児支援ガイドブック

熊本POSC療育支援チーム

子どもの発達が月齢別にわかりやすくまとめられた一冊です。  
各項目の一つひとつに説明があり、全カラーでとても使いやすい本となっています。  
発達チャートを活用すれば、子どもの発達を確認する手助けとなります。  
読みやすいので、子どもの発達を知りたい方はぜひ手に取ってほしいです。

看護学科3年

### ようこそ地球さん

星新一

星新一ショートショート集2作目。  
一つのお話はとても短く、さらっと読めてしまうものの、ブラックユーモアたっぷり、話のオチも衝撃的。  
一つ読むだけでも読了感を感じられるでしょう。  
私のおすすめは「殉教」と「処刑」です。これらの作品から著者の死生観が垣間見え、  
星新一が読者に伝えたい思いを感じられます。  
大人から子供まで楽しめる星新一の作品に触れ、その世界観を感じていただきたいです。

健康栄養学科1年

### 残像に口紅を

筒井康隆

この作品の冒頭には、「世界から言葉が消えていく」という一文が書かれている。  
実際にこの小説の世界では、言葉が一音ずつ消えていき、  
それに付随して「誰か」や「何か」消えて行ってしまう。  
一つの文字が連なって物のイメージを作り上げていると改めて感じさせる。  
しかし、言葉が消えていっている中でも、そうとは感じさせない著者の語彙の豊富さにも驚かされる。  
ものを示す言葉がなくなった中で、消えた何かを示そうとした著者の表現から、  
何か、がなんであったのか読み解いてみるのも面白いだろう。

健康栄養学科1年

## 2019年度第1回選書ツアー参加者の推薦文

シャーロック・ホームズの冒険

アーサー・コナン・ドイル

もっとも有名な探偵として名高いシャーロックホームズの12の短編集。  
様々な出版社から翻訳され出版されていますが、  
角川文庫より発売のこの書籍はより読みやすい文章構成で、テンポよく読み進められます。  
事件背景の丁寧な描写もあり、当時19世紀の時代背景を理解するとともに、  
より作品に入り込むことができるでしょう。  
ホームズシリーズ代表作がいくつも収録されたこの作品を、  
ぜひシャーロックホームズ作品入門の足掛かりにしてください。

健康栄養学科1年